

街にぎわい

1 農 業（農林緑政課）

本市においては市街化の進展に伴う営農環境や集落機能の低下や農業者の高齢化などにより、農業を取り巻く環境は厳しくなりつつある。

このような中、「高槻市農林業の活性化に関する条例」の基本理念に基づき、今後の都市農業の振興及び森林施策に関する基本的な方針となる「高槻市農林業基本計画」を策定し、農林業の持続的発展に向けて取り組んでいる。

(1) 農業施策

① 農業振興事業

農作物に対するイノシシ・シカ・サル等の有害鳥獣被害に適切に対応するため、関係団体や実行組合が取り組む防除事業を支援する。また、農業機械の共同化や営農活動の省力化・合理化を図るため、大阪版認定農業者が行う農業機械の購入に対し、大阪府と連携して支援する。さらに、農業振興を図るため、市内17の農業団体で組織される「高槻市農業振興団体協議会」の活動（今城塚古代歴史館前朝市開催等）を支援する。また、令和6年度に地域と関係機関との協議等を経て策定した地域計画等を踏まえ、農業における課題解決を目指す。

② 地産地消・食育推進事業

地産地消・食育を推進するため、「学校給食農産物供給部会」が行う安全・安心で新鮮な地元産農産物の学校給食への供給の取組を支援する。また、安全・安心な地元産農産物の供給促進を図るため、「高槻市・島本町エコ農産物推進協議会」が、農薬・化学肥料を従来の半分以上に抑えた農産物を大阪エコ農産物として認証する取組を支援する。

朝市などを通じた地産地消を推進するため、「高槻市地産地消推進協議会」と連携しながら、ビニールハウス栽培を行う農家を支援するとともに、朝市や直売施設への安全・安心で新鮮な地元産農産物の供給を行う取組を支援する。さらに、農業団体が行う地域の特性をいかした特産品づくりの取組を支援する。

③ 市民協働・交流推進事業

市民の農業体験機会の創出を図るため、市民向けに農業関係者が実施する田植え・稲刈りや芋掘りなどを支援するとともに、市民が利用できる農園の整備支援に取り組む。また、農空間の有する多面的機能に関する理解を深めるため、市民と農業従事者との交流や農林業祭・野菜即売会などの開催支援、レングなどの景観形成作物栽培の支援などに取り組む。

④ 営農推進事業

農業経営の安定化を図るため、農作業受委託や営農指導活動、後継者育成事業などを支援するとともに、農地利用集積事業の推進を図る。また、経営所得安定対策を活用し、野菜類や加工用米など高収益作物の作付けを推進する。

⑤ 農業基盤整備事業

農業生産性の向上や農業経営の安定、遊休農地化を防止するため、農道整備を計画的に行う。また、需給調整促進特別対策土地改良事業・一般土地改良事業・災害復旧事業として、実行組合等が主体とな

って整備する農道・水路・畦畔等の改良工事を支援する。さらに、遊休化した農地の再生を図るため、「高槻市遊休農地対策本部」が取り組む事業を支援する。加えて、小規模基盤整備事業として実行組合等が主体となって行う農地の区画拡大・集約化のための基盤整備事業を支援する。

2 林 業（農林緑政課）

本市は都市近郊に位置しながら、森林面積が市域の約44%を占めており、森林の持つ水源かん養や土砂の流出防止などの役割は大きく、森林所有者のみならず市民の生活とも深く結びついている。しかしながら、本市の林業生産活動は経営規模の零細性、林業の労働力不足等に加え、平成30年の台風第21号による甚大な風倒木被害を受けたことにより厳しい状況にある。

このような中、市域において森林施業の中心的な役割を担う大阪府森林組合への支援等を通じて被災森林の復旧や健全な森林の適正管理に努めるとともに、国の森林環境譲与税等を活用し、本市の林業施策を展開するとともに、大阪府の森林環境税事業も併せて展開することにより、健全な森林を次世代へ継承するべく取り組んでいる。

●森林面積及び民有林種別森林資源面積（農林業センサス、大阪府統計年鑑による）

森林面積 (ha)			民 有 林 種 別 森 林 資 源 面 積 (ha)							
			立 木 地					竹 林	無立木地	更新困難地
総数	国有林	民有林	総 数			人工林	天然林			
			総数	針葉樹	広葉樹					
4,619	143	4,476	4,278	3,291	987	2,314	1,964	137	55	5

(1) 森林保全

良好な森林環境を通じた国土保全のため、国や大阪府の事業との連携を図りながら、平成30年台風第21号による森林内の風倒木被害の早期復旧や計画的な森林整備に加え、山林地籍調査事業などを実施する大阪府森林組合を支援する。

また、大阪府森林組合との共催で「森林ボランティア」を養成するとともに、各種ボランティア団体が実施する森づくり活動や、地域住民等による森林の保全管理活動などの取組を、国・府と連携しながら支援し、健全な森林の保全に努める。

(2) 林道維持管理

林道管理条例に基づく、通行・占用の許可を適切な運用や定期的なパトロールにより、林道の機能の維持を図るとともに、森林施業に合わせて林道の改良を行い、林業生産基盤を担う林道を適切な維持管理に努める。

3 緑化推進（農林緑政課）

みどりあふれる憩いとうるおいのあるまちづくりの基本的な方針となる「第2次高槻しみどりの基本

計画」(令和4年度～令和13年度)に基づき、緑地環境の保全及び緑化の推進を図るため各種事業を実施している。

(1) 緑化の啓発

① 緑の相談、園芸講座

各家庭及び街並みに花と緑があふれる環境が創出されることをめざし、庭木や花等のみどりに関する知識を市民がより深く理解し、また定着するための取組として、緑の相談や園芸講座を実施する。

② 都市緑化フェア

水と緑につつまれたうるおいと活力あるまちをめざし、市民の緑化意識の高揚を図るため、高槻市緑化推進連絡会と高槻市が協働して実行委員会を結成し、市民の参画のもと「高槻市都市緑化フェア」を開催する。令和7年度は第41回目の開催。

(2) 緑化の推進

① 緑化樹の配布

みどり豊かな潤いのあるまちづくりを推進するため、住民が共同して行う地域緑化に対して、大阪府と連携し樹木を配布している。

② 花苗の配布

花とみどり豊かな街づくりと市民参加による地域緑化を推進するため、関係団体と協働して、春・秋の年2回、自治会等や公共施設を対象に花苗を配布している。配布した花苗は、JR高槻駅前周辺をはじめ、市内各地の公園や集合住宅、学校、公民館などの花壇で活用されている。

③ 開発行為における緑化協議

市域における無秩序な開発を防止するとともに、良好で快適な都市環境の形成を目的として、一定規模以上の開発行為において事業者と条例に基づく緑化協議を行い、開発行為緑化協議協定を締結することにより緑化率の向上に努めている。

(3) 自然保護への対策

① 保護地区等の指定

市内に残されている身近な自然やみどりを守り緑地環境の保全を図ることを目的に、緑地環境の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき、保護地区等を指定している。

令和7年8月現在において、樹林保護地区21地区(約13.8ha)、保護樹木29本、保護動物6種(ホタル科全種、ヒダサンショウウオ、カスミサンショウウオ、モリアオガエル、カジカガエル、ムカシトンボ)を指定している。

② 野生鳥獣の保護・管理

自然生態系の保全回復を図るとともに、有害鳥獣による生活環境・農林業被害を受けている市民の生活を守ること等を目的に、以下の取組を実施している。

ア 捕獲許可証の交付

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護管理法)による捕獲許可証を交付する。

イ 特定外来生物への対応

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」及び「大阪府ア

ライグマ防除実施計画」等に基づき、市民の依頼に応じてアライグマ用簡易捕獲器を貸し出している。

また、サクラ、ウメ、モモ等の樹木を枯死させる被害が全国的に拡大しているクビアカツヤカミキリについて、被害樹木の調査及び防除対策を行っている。令和6年度からは、被害を受ける前の対策として、摂津峡公園や小中学校などの主要な公共施設と連携した防御対策を導入するとともに、市民向けに防御対策を促すための助成金を創設している。

③ 自然再生エリアモニタリング

「芥川創生基本構想」などに基づき、自然再生に向けた取組を推進するため、津之江公園自然再生エリア内の動植物のモニタリングを市民協働で実施している。また、近隣の小学生を対象とした環境学習、外来植物の駆除などを実施している。

4 商工業（産業振興課）

本市の工業は、大都市近郊という優れた立地条件から、昭和30年代には国道沿いに近代的工場が数多く進出するなど、府内における内陸工業の一拠点を形成してきた。しかし近年の工業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業は構造改革のための統廃合を進めた結果、事業所数は減少し、その多くは厳しい経営状況に置かれている。このような社会経済の変化に対応して、一層の経営力の強化、生産技術の高度化、製品の高付加価値化、さらには情報化への対応等の課題に取り組むことが求められている。

また、本市の商業は、都市化の進展と共に鉄道駅周辺の都市型デパートの進出をはじめ商業施設の集積が進み、また、周辺の市街地にも商店街やスーパーマーケットなどが進出したことなどにより発展してきたことで、府内でも有数の商業都市の一つとなっている。しかし近年は、国道沿いなどに郊外型の大型専門店やショッピングセンターが進出するなど、多様な業態の商業が展開され、商圈の拡大と競争激化が進行している。

こういった状況の中、産業界、商工会議所、大学等が一体となって産業振興を図るための共通の指針となる「産業・観光振興ビジョン」（令和3年3月策定）に基づいて、計画的、総合的な産業振興の取組を進めている。

5 労働福祉（産業振興課）

本市における雇用情勢は、経済社会活動の活発化とともに一定の安定をみせているものの、個別の産業や職業別の有効求人倍率には差異がみられ、雇用のミスマッチ等の課題を有している。また、雇用主・従業員の双方において、労働条件を巡るトラブルや各種ハラスメント等の労働に関する様々な問題も確認されている。

さらに、働く能力・意欲がありながらも、年齢、障がい及び家族構成や社会的事情等により就職が著しく阻害されている就職困難者については、その就労を阻害する様々な要因の解消・軽減に向けて、継続的に様々な支援策を講じていく必要がある。

このような様々な課題を有する環境において、本市における雇用・就労を促進するため、ハローワーク茨木をはじめとする関係機関との連携を図りながら、就職関連イベントの企画・運営及び関係法令の啓発、労働関連の相談受付等を行い、企業の雇用及び求職者の就労の安定・促進を図る。特に就職困難者を対象とした取組としては、「就職困難者就労支援計画」（令和3年3月策定）に基づいて、計画的・総合的な労働施策の取組を進めている。

6 観光振興・定住促進・ふるさと寄附金等（観光シティセールス課）

(1) 観光シティセールス事業

街のにぎわいを創出するため、「BOTTOたかつき」をはじめとする観光プロモーションと定住促進プロモーションを展開し、交流人口及び関係人口、定住人口の増加を図る。

① 観光プロモーション

- ・消費者の個性や需要に合わせた企画と情報発信を行う「BOTTOたかつき」の取組を推進する
- ・市のマスコットキャラクター「はにたん」の活用や観光案内パンフレットの作成、鉄道事業者と連携した取組等を実施する
- ・市、観光協会、商工会議所が主体となり、体験交流型観光プログラム「オープンたかつき」を実施する
- ・観光協会の公益目的事業（観光企画事業、広報活動事業、観光案内事業）を支援する
- ・商工会議所の「たかつき土産認定制度」を支援し、市内商工業者による土産品の開発促進・PRを図る

② 定住促進プロモーション

生産年齢世代を中心とした定住人口の増加を図るため、広告掲出や職員による営業活動を行うなど、市内外に向けて積極的かつ効果的に情報発信する。

(2) ふるさと寄附金推進事業

本市の魅力あるまちづくりを応援しようとする個人または団体から寄附金を募り、魅力あるまちづくりを行うための財源確保を図る。

寄附金の実績

	件数（件）	金額（円）
令和6年度	12,145	722,145,656
令和5年度	13,036	619,546,543

※ 関西将棋会館建設支援寄附金を除く。

7 文化財（文化財課）

都市化の発展により祖先の残した貴重な有形・無形の文化財が消滅しつつある今日、これらの文化財の保護を積極的に進めるため、文化財の調査・収集・保存と活用を行う。また、各種講座や展覧会を通じて、文化財への正しい理解を進めるとともに、ふるさとの歴史・文化を守り育てる心を育む。

① 審議会

ア 文化財保護審議会

本市の文化財保護・活用について審議された。令和6年度は2回開催。

イ 史跡整備指導検討会

市内の史跡等の保存と公開活用に関し、専門的見地から指導助言を受けた。令和6年度は2回開催。

ウ 芥川城跡保存活用検討委員会

芥川城跡の歴史的評価及び保存活用に関し、専門的見地から指導助言を受けた。令和6年度は2回開催。

② 事業の概要(令和6年度)

事業名	テーマ・内容など
文化財の調査	しろあと歴史館の展示資料の充実及び本市の歴史・文化の発掘のため、文化財の掘り起こし調査を48件実施し、資料の収蔵・記録保存を図った。今城塚古代歴史館では、展示資料の充実を図るため、資料調査を2件実施した。
埋蔵文化財の調査	開発などによって消滅しつつある埋蔵文化財の発掘調査を29件、立会調査を69件実施し、資料の記録保存を図った。
しろあと歴史館	【特別展示】 特別展「戦国・桃山甲冑と大名具足 一甲冑名品展一」 ※観覧者数：2,051人（10月～12月） 【企画展示など】 第50回企画展「初公開！収蔵品展 一文芸・武芸・工芸一」 ※令和6年度の観覧者数：3,254人（令和6年3月～6月） 第51回企画展「平安歌人のおもかげ 一伊勢・能因と歌枕の地一」 ※観覧者数2,655人（7月～9月） 第52回企画展「小さきものの魅力 一装いと遊びの工芸品一」 ※令和6年度の観覧者数867人（令和7年3月～5月） 【トピック展示】 「発掘された平安時代の高槻」（7月～9月） 「紹介！ 将棋のまち高槻」（11月～令和7年2月） 「十二支の巳 蛇の郷土玩具」（12月～令和7年2月） 「節句を祝う土人形」（令和7年2月～6月） 【講座・教室・イベント・研修】 学芸員講座など全21種類、延べ34回 受講者1,226人 【その他】 来訪記念として高槻城・芥川城の「御城印」や、三好長慶・松永久秀などの「武将印」を販売した。
(分館) 歴史民俗資料館	しろあと歴史館の分館として、市民から収集した民俗文化財や資料等を保存・展示した。 【体験教室】 「れきみん昔あそびの日」など全2種類、延べ10回、参加者325人

今城塚古代歴史館	【企画展示】 第26回企画展「たかつき発掘 ―遺跡が語る高槻の歴史―」 ※令和6年度の観覧者数4,944人（令和5年10月～令和6年6月） 第27回企画展「〈ハニワワールドへようこそ〉音を奏でるハニワたち」 ※観覧者数3,443人（7月～9月） 第28回企画展「旧石器時代を探る ―郡家今城遺跡から見えるもの―」 ※観覧者数8,062人（10月～令和7年2月） 第29回企画展「たかつき発掘 ―遺跡が語る高槻の歴史―」 ※令和6年度の観覧者数1,280人（令和7年3月～6月） 【トピック展示】 「第30回ハニワづくりとスケッチ・ぬり絵大会作品展」（7月～8月） 「新春書初め会『高槻の旧石器時代を書く』作品展」（令和7年1月～2月） 【講座】 企画展関連講座、ハニワの日記念講座など全4種類、延べ4回、受講者281人 【体験イベント】 新春かき初め会、夏休みミニ銅鏡・ミニ銅鐸鑄造体験など全9種類、延べ14回、参加者507人 【体験教室（常時開催分）】 勾玉づくり教室、ハニワ作り教室全2種類、延べ294回、参加者4,623人
第32回 淀川三十石船 舟唄全国大会	大阪府指定無形民俗文化財「淀川三十石船船唄」の普及啓発を図るため、各種団体と実行委員会形式で全国大会を開催した（参加者約350人（うち出演者144人））。
第30回 ハニワづくりと スケッチ・ぬり絵 大会	史跡新池ハニワ工場公園を会場に、古代の技術に触れ、文化財に親しんでもらおうと開催した（参加者234人）。応募作品は審査のうえ入賞作を選び、全作品を今城塚古代歴史館で展示した（観覧者4,679人）。
歴史の散歩路・高 槻まちかど遺産 等の整備	「歴史の散歩路」「高槻まちかど遺産」等の維持管理を図るため、標柱を5基建て替え、2基を撤去し、代わりに標識プレート2枚を設置した。また、標柱6基、説明板11基を修繕した。
史跡の土地買上げ	史跡保存のため、令和6年度は嶋上郡衙跡附寺跡501.54㎡の土地買上げを行った。
安満遺跡の保存 及び公開	安満遺跡公園（史跡安満遺跡）について、安満人倶楽部の活動に協力するとともに、「さわってみよう安満遺跡」などのイベントを実施した。
三島古墳群の調査	史跡闘鶏山古墳の保存環境調査を実施するとともに、保存・整備にむけた石槨調査の具体的手法を引き続き検討した。

芥川城跡の保存及び公開	国史跡芥川城跡の今後の保存と活用のため、保存活用計画の策定に着手するとともに、土地の用地測量を行い、公有化の取組を推進した。また、普及啓発のための連続講座の開催や、アプリ「AR芥川城」の公開、御城印・武将印の販売、しろあと歴史館における常設展示コーナーの開設などにより魅力発信を行ったほか、芥川城跡の見学ルートの修繕を行った。
出土遺物保存処理	塚原19（H3）号墳から出土した金属製品の保存処理を実施した。
公民館連携講座	高槻市の歴史を題材にした講座を市内の公民館等で実施した。 全5回、受講者205人
資料等の刊行	【歴史館展示図録】 『戦国・桃山甲冑と大名具足 一甲冑名品展一』 『高槻市文化財調査報告書 第44冊 郷土玩具 奥村寛純コレクション 一土製・練り物玩具（近畿）一』 『旧石器時代を探る一郡家今城遺跡から見えるもの一』 【調査概要等】 『高槻市文化財調査概要 52 嶋上遺跡群 49』 『高槻市文化財年報 令和5年度』 『高槻の史跡』 『今城塚古代歴史館資料集 3 郡家今城遺跡再整理成果資料集』

③ 施設の概要

ア いましろ 大王の杜

史跡今城塚古墳の適切な保存と公開を図る古墳公園と、10か年にわたる発掘の成果を軸に、三島古墳群を紹介する今城塚古代歴史館を整備、愛称「いましろ 大王の杜」として平成23年4月1日に開設した。

古墳公園では、緑を活かして二重濠などを復元的に整備し、「埴輪祭祀場」は復元形象埴輪約190点で再現した。古代歴史館では、出土品をはじめ、貴重な発掘成果を実大ジオラマ模型や映像でわかりやすく説明している。また魅力ある特別展・企画展や講座を開催するとともに、教室、体験学習等を市民ボランティアとも協働して実施し、市域の歴史遺産のネットワークの拠点施設として、歴史文化に関する学術的情報や高槻の観光情報を広く発信していく。

史跡今城塚古墳

- ・所在地 高槻市郡家新町地内
- ・整備面積 90,644m²
- ・整備内容 遺構保護盛土及び二重濠復元整備、墳丘・内堤護岸列石復元、内堤土層断面展示、遺構説明板、埴輪祭祀場の復元・展示、1/50古墳全体模型、遺跡地図広場、はにわバルコニー、はにわの架け橋
- ・開設年月日 平成23年4月1日

今城塚古代歴史館

- ・所在地 高槻市郡家新町48番8号

- ・施設内容 鉄骨造2階建て 延床面積 3,956㎡
- ・開館年月日 平成23年4月1日（博物館登録年月日：平成26年5月27日）
- ・開館時間 午前10時～午後5時
- ・休館日 毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始
- ・入館者数 令和6年度 50,170人（開館以来延べ入館者数 843,841人）

イ しろあと歴史館

本市が所蔵する文化財の適正保管や高槻に関する文化財の展示・調査・研究等を行う拠点施設として、平成15年3月に開館した。

常設展示室では、「芥川城と三好一族」「高槻城と人」「城下町の暮らし」「西国街道と芥川宿」「淀川と舟運」「人々のなりわいといとなみ」の各コーナーを設け、実物史・資料や写真パネル、映像、資料レプリカ等で江戸時代の高槻を紹介している。企画展示室では特別展・企画展を開催し、体験学習室では各種の講座や教室を開催。これらの文化財保護啓発事業を展開するなかで、ふるさとへの愛着と誇りを育み、市民参加による「歴史遺産を活かしたまちづくり」と歴史・文化の情報拠点づくりを進めていく。

- ・所在地 城内町1番7号
- ・施設内容 鉄筋コンクリート造3階建て 延床面積 2,133.54㎡
常設展示室（278㎡）、企画展示室（134㎡）、エントランスホール（218㎡）、体験学習室（120㎡）、第一收藏室（379㎡）、特別收藏室（86㎡）、写場、学芸室等
- ・開館年月日 平成15年3月30日（博物館登録年月日：平成25年9月18日）
- ・開館時間 午前10時～午後5時
- ・休館日 毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始
- ・入館者数 令和6年度 30,148人（開館以来延べ入館者数 749,535人）

ウ 歴史民俗資料館（しろあと歴史館分館）

市民から収集した民俗文化財や資料等を保存・展示するなど、市指定有形文化財旧笹井家住宅を高槻市立歴史民俗資料館として保存・活用している。

- ・所在地 城内町3番10号 高槻城公園内
- ・施設内容 建築面積 238.74㎡
展示館 木造平屋建て 177.99㎡
（展示面積 159.20㎡ うち土間面積 90.80㎡）
收藏庫 鉄筋コンクリート造平屋建て 60.75㎡
- ・開館年月日 昭和57年7月10日
- ・開館時間 午前10時～午後5時
- ・休館日 毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始
- ・入館者数 入館者数 令和6年度 14,036人（開館以来延べ入館者数 696,919人）

エ 埋蔵文化財調査センター

本市に所在する古墳をはじめとする数多くの埋蔵文化財を保護し、その活用を図るため開館した。併せて、埋蔵文化財発掘調査並びに出土品等関係資料の調査・研究・收藏を行うとともに、調査報告書等を発刊するなど埋蔵文化財の保護・活用に努めている。

- ・所在地 南平台五丁目21番1号

- ・施設内容 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 1,766 m²
- ・開館年月日 昭和50年10月25日

オ 史跡新池ハニワ工場公園

新池遺跡では、18基の埴輪窯と3棟の工房、埴輪づくりの職人たちの集落が見つかり、日本有数の埴輪生産遺跡であることが明らかになった。また史跡今城塚古墳など大王陵とのかかわりのなかで埴輪づくりが語れる唯一の貴重な遺跡であることも判明し、平成3年7月20日に史跡に指定された。

この貴重な遺跡を保存・整備し、広く市民に公開するために平成4年度から3か年にわたって「ふるさと歴史の広場」整備事業を実施し、平成7年3月に「ハニワ工場公園」として開園した。

マンガ説明板やハニワのレプリカ、さらには実物の埴輪窯がそのまま見学できる「ハニワ工場館」などがあり、文化財が楽しく理解できるアメニティゾーンとして、市民の憩いの場にもなっている。

- ・所在地 上土室一丁目
- ・規模 4,163.99 m²
- ・整備内容 復元工房（木造茅葺平屋建て）2棟、復元窯2基、工房遺構表示1棟、窯遺構表示15基、露出展示窯（ハニワ工場館内）1基、マンガ陶板・復元ハニワ等ハニワ工場館（鉄骨造平屋建て）延床面積155.60 m²
- ・開館年月日 平成7年3月11日
- ・開館時間 午前10時～午後5時
- ・休館日 年末年始
- ・見学者数 令和6年度 10,504人（開館以来延べ見学者数 445,741人）

カ 青龍三年の丘（安満宮山古墳）

平成9年に発見された、「青龍三年銘鏡」など貴重な資料が出土した安満宮山古墳を保存・活用するため復元整備を行い、公開している。

- ・所在地 安満御所の町地内
- ・整備面積 800 m²
- ・施設内容 墳丘復元18m×21m、墓坑露出展示（墓坑・出土品複製による調査状況再現）、古墳説明板（復元鏡5面埋込）、マンガ説明板、標柱、東屋等
- ・開設年月日 平成10年12月10日
- ・利用時間 午前9時～午後5時（公園墓地利用時間）
- ・見学者数 令和6年度 1,584人（公開以来延べ見学者数 102,871人）

キ 安満遺跡公園

弥生時代の環濠集落として史跡安満遺跡の保存と活用を推進し、あわせて地域の防災力向上を目指す公園として開園した。史跡エリアでは、居住域・生産域・墓域の三域を象徴するモニュメント類によって、安満山を背景に稲作開始期の集落景観をイメージできる整備を行った。環濠内にある国登録有形文化財の旧京都大学農場建物群は学び・体験といった史跡のガイドランス機能をもつ。

- ・所在地 高槻市八丁畷町地内
- ・規模 全体面積 1.76ha（うち史跡エリア 約13ha）
- ・整備内容 環濠（白石平面表示・人工芝土塁）、体験水田・体験畠、方形周溝墓6基、木棺陶板表示、ガイドランス施設（歴史拠点本館・展示館（木造平屋建て、瓦葺き、昭和7年建築、床面積約161m²）・体験館・北館）、ガラスサインほかサイン類、赤彩壺（10倍大）ほかモニュメント類

- ・開館年月日 令和3年3月27日
- ・利用時間 展示館 午前9時～午後5時（年末年始休）、公園全体は無休、24時間無料開放
- ・管理運営 指定管理者 店舗等は民間事業者
- ・入館者数 展示館 令和6年度 49,438人（開館以来延べ入館者数 257,908人）

④ 指定文化財

ア 国指定・登録

種類	種別／区分		名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日(西暦)
有形文化財	国宝	考古資料	金銅 石川年足墓誌 附木櫃残闕銅釘付一括	大阪市	個人 〈大阪歴史博物館寄託〉	昭和27年3月29日(1952)
	重要文化財	建造物	普門寺方丈 附棟札	富田町	普門寺	昭和52年1月28日(1977)
		彫刻	木造 聖観音立像 2 軀	原	神峯山寺	昭和25年8月29日(1950)
			木造 阿弥陀如来坐像	原	神峯山寺	昭和25年8月29日(1950)
			木造 聖観音立像	奈良市	本山寺 〈奈良国立博物館寄託〉	昭和25年8月29日(1950)
			木造 毘沙門天立像	原	本山寺	昭和25年8月29日(1950)
			木造 千手観音坐像	浦堂本町	安岡寺	昭和49年6月8日(1974)
			木造 菩薩坐像	昭和台町	慶瑞寺	平成元年6月12日(1989)
		考古資料	大阪府安満宮山古墳出土品 一括 銅鏡5面、鉄製品9点、 ガラス小玉一括附苧麻布片2点	郡家新町	文化庁 〈高槻市保管〉	平成12年6月27日(2000)
		古文書	和田家文書	堺市	個人 〈堺市博物館寄託〉	令和元年7月23日(2019)
	旧法による 重要美術品	美術 工芸品	石造 灯籠	天神町	上宮天満宮	昭和17年5月30日(1942)
	登録有形文化財	建造物	大阪医科大学看護専門学校校舎 (旧大阪高等医学専門学校別館)	大学町	大阪医科薬科大学	平成15年7月17日(2003)
			長谷川家住宅主屋	東五百住町	個人	平成16年8月17日(2004)
			古畑家住宅 主屋 他7棟	中畑	個人	平成20年7月23日(2008)
			行信教校 講堂棟 他1棟	東五百住町	行信教校	平成25年6月21日(2013)
			横山家住宅 主屋 他4棟	城北町	個人	平成25年12月24日(2013)
			旧京都大学高槻農場 本館及び付属屋 他3棟	八丁畷町	高槻市	令和4年2月17日(2022)
記念物	史跡	古墳	今城塚古墳附新池埴輪製作遺跡	郡家新町	高槻市他 【追加指定日】	昭和33年2月18日(1958) 【平成18年1月26日】(2006)

		生産遺跡	新池埴輪製作遺跡	上土室	高槻市	平成 3 年 7 月 20 日(1991)
		官衙跡	嶋上郡衙跡附寺跡	清福寺町 川西町 郡家新町	高槻市他	昭和 46 年 5 月 27 日 (1971)
		古墳	阿武山古墳	奈佐原他	奈佐原財産区	昭和 58 年 8 月 30 日(1983)
		集落跡	安満遺跡	八丁畷町	高槻市他 【追加指定日】	平成 5 年 11 月 19 日(1993) 【平成 23 年 2 月 7 日】(2011)
		古墳	關鷄山古墳	氷室町 上土室	高槻市他	平成 14 年 12 月 19 日(2002)
		城館跡	芥川城跡	原	高槻市他	令和 4 年 11 月 10 日(2022)
	名勝	庭園	普門寺庭園	富田町	普門寺 【追加指定日】	昭和 56 年 8 月 28 日(1981)
						【平成 12 年 12 月 13 日】(2000)

イ 府指定

種類	種別／区分		名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日(西暦)
有形 文化財	建造物	工作物	本山寺 石造 宝篋印塔	原	本山寺	昭和 53 年 8 月 4 日(1978)
	美術 工芸品	彫刻	廣智寺 木造 多臂觀世音菩薩立像	天神町	廣智寺	平成 5 年 11 月 24 日(1993)
		考古資料	教宗寺の石槽	芥川町	教宗寺	昭和 49 年 3 月 29 日(1974)
			八阪神社の石槽	原	八阪神社	昭和 49 年 3 月 29 日(1974)
			石塚古墳出土 四霊三瑞鏡	郡家新町	個人 〈高槻市寄託〉	昭和 56 年 6 月 1 日(1981)
			郡家今城遺跡出土石器 196 点 附チップ・礫一括	郡家新町	高槻市	平成 10 年 2 月 4 日(1998)
民俗 文化財	無形民俗文化財	芸能	淀川三十石船船唄	大塚町	淀川三十石船船唄 大塚保存会	平成 14 年 1 月 29 日(2002)
記念物	史跡(規則指定)	城郭	高槻城跡	城内町	高槻市他	昭和 25 年 5 月 1 日(1950)
		信仰	高山右近高槻天主教会堂跡	大手町	高槻商工会議所	昭和 24 年 5 月 9 日(1949)
	史跡	交通	西国街道芥川一里塚	芥川町	芥川一里塚三宝大荒神保存会	平成 5 年 3 月 31 日(1993)
	名勝(規則指定)	溪谷・溪流	撰津峽	原・塚脇	高槻市他	昭和 13 年 5 月 11 日(1938)
	天然記念物	植物	出灰素盞鳴神社のカツラ	出灰	素盞鳴神社	平成 14 年 1 月 29 日(2002)

ウ 市指定

種類	種別／区分		名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日(西暦)
有形 文化財	建造物	住居建築	旧笹井家住宅	城内町	高槻市	昭和 47 年 9 月 12 日(1972)
		民間信仰	清福寺太子堂	清福寺町	高槻市	昭和 63 年 3 月 31 日(1988)
		寺院建築	本照寺本堂	富田町	本照寺	平成 2 年 4 月 13 日(1990)

			本照寺山門 附石橋	富田町	本照寺	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
			本照寺東門	富田町	本照寺	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
			本照寺鐘樓	富田町	本照寺	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
		神社建築	永井神社社殿 附棟札 4 枚・高槻城絵馬 1 面	野見町	野見神社	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
			永井神社唐門	野見町	野見神社	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
			三輪神社社殿 附棟札 2 枚・奉加帳序 1 卷	富田町	三輪神社	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
			三輪神社絵馬所	富田町	三輪神社	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
			三輪神社末社春日社 附玉垣	富田町	三輪神社	平成 17 年 6 月 14 日 (2005)
	美術工芸品	彫刻	木造 大日如来坐像	田能	田能自治会	昭和 51 年 6 月 1 日 (1976)
			木造 不動明王立像	原	本山寺	平成 10 年 10 月 28 日 (1998)
			木造 聖観音菩薩立像	田能	田能自治会	平成 28 年 7 月 19 日 (2016)
			木造 薬師如来坐像	山手町	山手町自治会	平成 28 年 7 月 19 日 (2016)
			木造 十一面観音菩薩立像	原	神峯山寺	令和 2 年 8 月 3 日 (2020)
			木造 地藏菩薩立像	原	神峯山寺	令和 2 年 8 月 3 日 (2020)
		古文書	三好長慶水論裁決状 (永禄弍年五月十九日) 及び三好家奉行衆連判裁許井手絵図 2 卷	城内町	郡家財産区 〈高槻市寄託〉	昭和 58 年 11 月 1 日 (1983)
			芥川宿絵図	芥川町	個人	平成 3 年 5 月 17 日 (1991)
			本山寺文書 2 卷	城内町	本山寺 〈高槻市寄託〉	昭和 49 年 3 月 30 日 (1974)
			葉間家文書 3 卷	城内町	個人 〈高槻市寄託〉	昭和 49 年 3 月 30 日 (1974)
			天川水帳 2 冊 (高山帳)	城内町	個人 〈高槻市寄託〉	昭和 49 年 3 月 30 日 (1974)
			富田村文禄検地帳 9 冊	城内町	高槻市	昭和 63 年 3 月 31 日 (1988)
			高槻村文禄検地帳 1 冊	城内町	高槻市	昭和 63 年 3 月 31 日 (1988)
			高槻村元和検地帳 1 冊	城内町	高槻市	昭和 63 年 3 月 31 日 (1988)
			富田村延宝検地帳 3 冊	城内町	高槻市	昭和 63 年 3 月 31 日 (1988)
			芥川村文禄検地帳 3 冊	城内町	個人 〈高槻市寄託〉	平成 21 年 7 月 14 日 (2009)
			神峯山寺文書	城内町	神峯山寺 〈高槻市寄託〉	平成 25 年 7 月 25 日 (2013)
			安岡寺文書	城内町	安岡寺 〈高槻市寄託〉	平成 25 年 7 月 25 日 (2013)
		歴史資料	永井神社伝来永井直清関連資料	城内町	野見神社 〈高槻市寄託〉	平成 24 年 2 月 14 日 (2012)
		書跡	大般若経 600 卷附応永年紀経櫃	城内町	春日神社 〈高槻市寄託〉	平成 26 年 8 月 1 日 (2014)
		美術工芸品	成合春日神社伝来馬具	成合北の町	春日神社	平成 26 年 8 月 1 日 (2014)

民 俗 文化財	有形民俗 文 化 財	信仰	成合春日神社 雨乞祭具一式	成合北の町	春日神社	昭和 49 年 3 月 30 日(1974)
	無形民俗 文 化 財	風俗慣習	磐手杜神社の神輿渡御神事	安満磐手町	磐手杜神社 神輿渡御保存会	平成 18 年 2 月 21 日(2006)
			八阪神社の春祭歩射神事	原	八阪神社春季大祭 (大蛇祭)保存会	平成 18 年 2 月 21 日(2006)
記念物	史跡	生活活動に 関する遺跡	下田部高札場	下田部町	下田部自治会	昭和 51 年 6 月 1 日(1976)
		墳墓及び碑	伝能因法師墳附文塚、不老 水、花の井	古曽部町 別所本町	伊勢寺他	昭和 60 年 7 月 1 日(1985)

8 将棋のまち推進事業（将棋のまち推進課）

(1) 将棋振興事業

（公社）日本将棋連盟と締結した包括連携協定に基づき、アマチュア将棋大会の実施や小学校 1 年生への高槻産木材製将棋駒の配付、また、「高槻将棋まつり」の開催等を通じて、日本古来の伝統文化であり、市にゆかりの深い将棋の普及啓発を行っています。さらに、タイトル戦等の誘致を通じて、将棋文化の振興を図るとともに、市の知名度向上や地域活性化に取り組んでいます。

(2) 将棋のまち周辺整備事業

関西将棋会館の移転オープンを契機として、将棋のまちとしてのまちづくりを更に推進するため、JR 高槻駅北側の関西将棋会館を中心としたエリアにおける今後の整備方針を定める「（仮称）将棋のまちづくり推進プラン」を策定し、「将棋のまち高槻」を感じられる整備等を進めることで、駅周辺のにぎわい創出による交流人口の増加に努めています。

9 公園（歴史にぎわい推進課）

(1) 安満遺跡公園（総合公園）

防災機能を備えたみどり豊かな安満遺跡公園（約 22ha）について、弥生時代の貴重な国史跡安満遺跡を保存、活用するとともに、安満遺跡公園パートナーズを指定管理者とし、質の高い効率的な管理運営に取り組んだ。

有料施設利用料金

区 分		利用料金	面積等
パーク セン ター	工 作 ・ 調 理 室	1,100 円／時間	81 m ²
	多 目 的 ス タ ジ オ	900 円／時間	66 m ²
	多 目 的 室	1,000 円／時間 ※ 2 つに間仕切りした場 合は各 500 円／時間	76 m ²

	ランニングステーション	シャワー100 円／5 分 ロッカー100 円／回	ブース 各 2 か所 ロッカー 各 30 台
歴史拠点	歴史体験室	1,000 円／時間	82 m ²
	多目的スペース	1,100 円／時間	93 m ²
駐 車 場		普通車：100 円／30 分 (1 日最大 800 円) 中型自動車：1,000 円／回 大型自動車：2,000 円／回	西駐車場 152 台 東駐車場 264 台

(2) 高槻城公園の整備

高槻市の城跡(しろあと)地区は、江戸時代に北摂唯一の城郭として重要な役割を果たした高槻城跡として歴史的価値が非常に高いことなどから、本市の中心市街地における新たなシンボルエリアを創造すべく、高槻城公園の整備に取り組んでいる。

令和 6 年度は旧市民会館等の解体工事を完了するとともに、北エリアの整備に向けた実施設計を行った。

10 摂津峡青少年キャンプ場（歴史にぎわい推進課）

キャンプ場の適切な管理運営を行うとともに、摂津峡エリアを含め街のにぎわいと地域の活性化につながる施設となるよう、リニューアルに向けた検討に取り組んでいる。

施設概要

所在地	高槻市大字原 1 番地	
設置年月日	昭和 33 年 6 月 3 日	
開場期間	1 月 6 日～12 月 28 日（12 月 29 日～翌年 1 月 5 日は休場）	
	第 1 キャンプ場	第 2 キャンプ場
	ロッジ：9 棟 常設テント：10 張 炊飯場：3 箇所 野外ステージ：1 箇所 管理棟：1 棟 研修交流棟：1 棟	テントサイト：12 基 炊飯場：1 箇所 管理棟：1 棟
	（定員）宿 泊：114 人 日帰り：120 人	（定員）宿 泊：72 人 日帰り：80 人